

2024年11月5日
一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会

11月23日は勤労感謝の日
無人の清掃ロボ導入や新幹線で引越も！？
大きなエキマチ「東京ステーションシティ」を支える
進化し続けるお仕事大特集！



©一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会

東京ステーションシティは、東京駅の交通機関としての機能のみならず、オフィス、商業施設、ホテルなどが集約された一つの大きな街。「東京駅が、街になる。」というコンセプトのもと、この街の更なる魅力をお届けしています。東京ステーションシティは全37社、総勢約11,000名以上の働く人々によって支えられています。今回はその中から、ロボット等を活用し働きやすさや人手不足解消につなげているお仕事や、環境に配慮したサステナブルな取り組みを行うサービスなど、環境の変化に柔軟に対応し進化し続けている東京駅を支えるお仕事をご紹介します。

【CONTENTS INDEX】

Topic1. ロボット等を活用し働きやすさも重視！東京駅を支えるお仕事紹介・・・2-4p

Topic2：東京ステーションシティ NEWS TOPICS・・・5-6p

Tokyo Station City公式サイト：<https://www.tokyostationcity.com/>
Facebook：<https://www.facebook.com/TheTokyoStation/>
Instagram：<https://www.instagram.com/tokyostationcity/>

Topic1. ロボット等を活用し働きやすさも重視！東京駅を支えるお仕事紹介

交通機関としての機能のみならず、オフィス、商業施設、ホテルなどが集約された一つの大きな街「東京ステーションシティ」。今回は東京ステーションシティを支える全37社の中から5つのお仕事をご紹介します。ロボット等の最新のテクノロジーを活用し、働きやすさや人手不足解消につなげているお仕事や、CO2削減など環境にも配慮したサステナブルな取り組みを行うサービスなど、環境の変化に柔軟に対応し進化し続ける東京駅を支えるお仕事にご注目ください。

(2024年一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会調査)

株式会社JR東日本テクノハートTESSEI

▶東京駅での役割

JR東日本の新幹線の折り返し清掃を、1日約140本(繁忙期は1日最大190本)の車内環境整備を行う。その他、新幹線改札内のコンコース、トイレ等の清掃を行う。スタッフは440名ほど。

スタッフの発意により2019年から座席濡れ発見にサーモグラフィを導入

1日新幹線140本中20～30席、多い時で50席ほどの座席濡れが発生する。

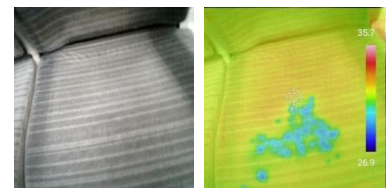
「座席濡れを早期に発見し、お客さまにご迷惑をおかけするケースを出来るだけ少なくしたい」というスタッフの発意がきっかけとなり、作業効率の向上と作業負担の軽減を目指し、2019年より新幹線の座席濡れ確認にサーモグラフィを導入。通常サーモグラフィは、目に見えない温度差を検知して色で可視化することにより、建造物の水濡れなどの検査で使用されることが一般的で、鉄道業界の清掃分野の導入の先駆けとなった。



導入しているサーモグラフィ

対応車両数は約4倍に！スタッフの身体的負担は大幅軽減

東京駅で折り返し清掃にかけられる時間は7分間。従来は水分を検知するハウキを使用し1席ずつ確認していたため複数車両を確認することが難しかった。サーモグラフィを導入後は、7分の間に1人あたり4両、約350席の座席濡れ確認を実施。座席濡れ発見率が約1.5倍に増加し、お客さまが利用できる座席数も増加。また車内通路を歩行しながら確認できるようになり、清掃スタッフの手首や腰への身体的負担も大幅に軽減された。



座席を目視で見た場合 座席をサーモグラフィを通して見た場合

さらなる効率化を目指し機械化を進めていきたい

限られた時間の中でより効率的に清掃を行うためにさまざまな取り組みを進めている。例えば、床清掃は基本的に自在ハウキを使用しているが、お客さまのご利用が多い車両では、床がじゅうたんの仕様の車両で使っていたクリーナーの活用を推進。床清掃の効率化を目指し、導入を進めている。今後も、効率的かつ効果的な作業の実現に向けて、清掃業務の機械化の検討を進めていく。



サーモグラフィを活用して座席濡れ確認をしている様子

株式会社JR東日本環境アクセス

▶東京駅での役割

東京駅構内や商業施設、オフィスビルおよび在来線の駅折り返し車内清掃、廃棄物収集運搬などを担当。

2024年4月より清掃ロボットを導入し床面の清掃を実施

終電後、東京駅ではコンコースや通路、商業エリアなど広範囲に渡って清掃作業を行っている。この夜間清掃において、2024年4月から清掃ロボット3台を導入。3台をブロックごとに配置し事前にルートを読み込ませることで、現在は広範囲の床面を清掃ロボットが行っている。



2024年4月から導入された清掃ロボット

人とロボットがそれぞれの得意分野を活かし、 時間短縮や品質の平準化を実現

清掃ロボット導入前は、全ての範囲の清掃を完了させるのに4人で3日間かかっていたが大幅に短縮。さらに階段や壁の端の方など、人の手でないと清掃が難しい箇所にも手を回すことができるようになった。清掃ロボット導入により、人でなければできない箇所以外は効率化できているとともに、これまで出来栄にムラがあったものが、ロボット導入により品質が平準化された。



ホームドア自動洗浄ロボット

機械化を推進し、安全向上や社員の健康維持にもつなげていきたい

東京駅では2024年10月から山手線・京浜東北線のホームドアを洗浄するロボットを導入し運用を開始。また2025年3月に予定されている中央線快速電車の東京駅折返しグリーン車の清掃も担当。ラッシュ時間帯における東京駅での折返し時間が約2分しかない中、いかに効率的に清掃と座席の方向転換を行うか等、訓練を重ねている。清掃業界は慢性的な人手不足と高齢化が問題となっており、効率化と品質維持のためには機械化やシステム化が不可欠。今後も積極的に機械化を推進し、安全向上や社員の健康維持にもつなげていきたい。



中央線の実車両での清掃シミュレーション

JR東日本ビルテック株式会社

▶東京駅での役割

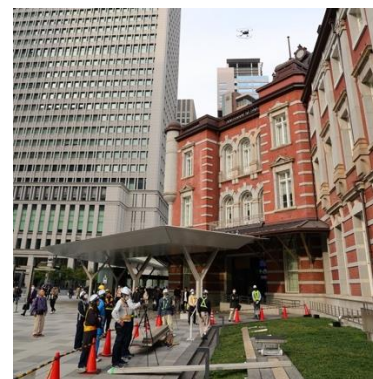
東京駅構内や駅舎等の建物、設備を各系統(建築・機械・電力・通信)が協力して維持管理を行う。また、地下駅の空調設備の管理及び省エネ提案を行う。総勢78名にて対応。

丸の内駅舎の外壁調査に赤外線カメラとドローンを導入

2023年より、赤外線カメラを使用し、丸の内駅舎の外壁調査を実施。タイルの浮き、微細なひびや欠け、剥がれなど、地上からの目視ではわからない部分が可視化できるとともに、いち早い修繕対応が可能に。人による調査が難しい駅舎の外壁調査や高所点検なども、ドローンや赤外線カメラの専門知識と高度な技術を有するビルテック社員が直轄で調査を行うことで、安全かつ正確なメンテナンスを実現している。

時間やコスト削減だけでなくスマートメンテナンスへの意識醸成も

赤外線カメラを導入する前は、叩いて確認する「打診調査」で全て調査を行っていた。打診用の足場を組むだけでも時間とコストがかかっていたが、現状は必要な箇所のみ打診で対応している。また、若手のスタッフには基礎技術として打診を経験してもらうものの、赤外線カメラの操作方法や分析に注力してもらうことで、人手不足解消にも一役買っている。このような取り組みから社員のスマートメンテナンスへの意識の改善も図ることができている。



赤外線カメラを搭載したドローンを活用し
外壁調査を行う様子

駅の安心と快適空間をお届けする

メンテナンスの側面では実際に修繕が必要な状態になる前に修繕を行う「予防修繕」に注力している。過去の修繕履歴から弱点箇所をデータ管理・分析をすることで事前に修繕を実施する取り組みを開始した。駅構内、駅舎等の建物・設備の維持管理でお客さまに安心・快適な空間をお届けできるよう日々取り組んでいる。



解析結果：黒色が濃い箇所が浮き等の懸念箇所

株式会社ジェイアール東日本物流 東京エキロジセンター

▶東京駅での役割

各店舗への物流業務、列車による荷物輸送サービス「はこビュン」業務、手荷物預かり、構内のチラシラックの補充作業などを行う。約200名、24時間体制で物流まわりを一手に担う。

新幹線で引越も！？利便性向上と環境にも優しい取り組み

2021年10月より運用を開始している新幹線による荷物輸送サービス「はこビュン」は、モーダルシフト※を担う高い環境性を活かした輸送手段で、物流網弱体化の課題に対し列車を活用した都市間物流を担っている。また、2024年より新青森-東京間で、新幹線を活用して引っ越しの荷物を運ぶ実証実験を複数回行っている。朝使ったものがその日のうちに引越し先に届くという利便性と環境にも優しい取り組みを実施している。2025年度中にも新幹線を使った多量輸送の実用化を目指す。

※トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道等利用へと転換すること



新幹線による荷物輸送サービス「はこビュン」

2024年問題などの解消にも

ドライバー不足の深刻化が懸念される「2024年問題」。荷物を運ぶ際に車両ではなく、もともとあるリソースを活用し、通常運行している旅客鉄道での貨客混載を行うことにより人手不足の解消につなげている。さらにCO2の追加排出なく物流を活性化させることが可能なため、人にも環境にも優しい輸送手段として運用を行っている。



手荷物預かり

環境変化に耐え得る基盤構築と、常に新しい発想を

東京駅での手荷物預かりは2024年9月より新運用を開始。これまではお名前や電話番号と引き換えだったが、4桁のPINコードのみで預かり・照合を行う運用に変更。荷物を預けるまでの時間は約1/3短縮され、電話番号を持っていない海外からのお客さまにもより気軽に預けていただくことができています。今後もこういった環境変化にも耐え得る、強固な物流基盤の構築や新しい発想での業務改善、効率化を目指していく。

ジェイアールバステック株式会社

▶東京駅での役割

高速バスののりば案内や交通誘導、チケット販売など、東京駅JR高速バスターミナルの運営を行う。総勢25名、1日の発着数約400便の対応を行っている。

夏の屋外業務でも安心安全な環境を整備

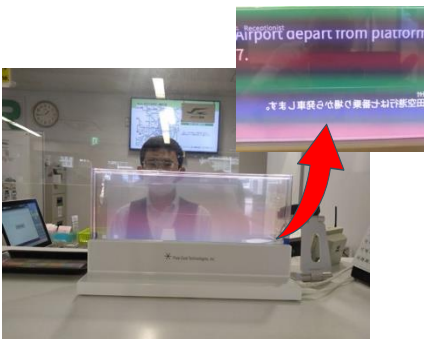
酷暑の続いた2024年夏、熱中症予防対策として屋外での業務がメインとなる東京駅JR高速バスターミナルのりば案内係及び交通誘導員へ、体表面を直接冷やすことのできるウェアラブルサーモデバイスと、ファンのついたベストをいち早く貸与。一時は熱中症アラートバンドを貸与し、屋外業務中に熱疾患の高まる状況を早期に警告、予防を促す取り組みを行うなど、安全で安心な業務環境を整備を徹底している。



2024年夏に活用していたウェアラブルサーモデバイス

窓口では23か国語のリアルタイム翻訳ディスプレイを導入

2024年10月より、チケット販売窓口では外国人のお客さま対応のツールとして、23か国語のリアルタイム翻訳ディスプレイを導入。それぞれの言語で話すと自動通訳されて表示されるため、コミュニケーションが円滑になったとともに、外国人のお客さまの対応時間が短縮された。



23か国語のリアルタイム翻訳ディスプレイ

環境の変化に柔軟に対応し、より働きやすい方法を模索

2023年の夏はネッククーラーを活用、2024年はウェアラブルサーモデバイス等を活用するなど、1つの対策に固定せずその時々々の環境に応じより良い対策を取り入れてきた。今後も社員の働きやすさを重視し、環境や気候などの変化に柔軟に対応し、社員の安全と労働環境改善に取り組んでいく。

Topic2. 東京ステーションシティ NEWS TOPICS

※Topic2でご紹介している商品はすべて税込価格です。原材料の生産の都合や売れ行きによっては告知なく販売終了をしている場合もございますので、ご了承ください。

■東京ステーションギャラリー

企画展「テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする」2025年1月5日まで開催

東京ステーションギャラリーでは、企画展「テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする」を、2025年1月5日（日）まで開催しています。本展は、イギリスの生活文化に大きな変化をもたらし、デザインブームの火付け役にもなった サー・テレンス・コンラン（1931-2020）の人物像に迫る日本で初めての展覧会です。彼がパターン・デザインした食器やテキスタイルなどの初期プロダクト、家具デザインのためのマケット、ショップやレストランのためのアイテム、発想の源でもあった愛用品、著書、写真、映像など300点以上の作品や資料から、さまざまなコンラン像を浮かびあがらせてます。

■会場

東京ステーションギャラリー（JR東京駅 丸の内北口改札前）

■日時

10月12日（土）～2025年1月5日（日） 10:00～18:00（金曜日は～20:00）

※入館は閉館30分前まで

■休館日

月曜日（ただし12月23日は開館）、12月29日（日）～1月1日（祝・水）

■入場料

一般1,500円／高校・大学生1,300円／中学生以下無料

※障がい者手帳等持参の方は200円引き（介助者1名は無料）

■チケット販売

オンラインチケット www.e-tix.jp/eircf_gallery/

東京ステーションギャラリー1階入口

■主催：東京ステーションギャラリー〔公益財団法人東日本鉄道文化財団〕

■企画協力：株式会社コンランショップ・ジャパン、泉川真紀事務所



■回転寿司 羽田市場 グランスタ東京店

旬な食材を厳選した限定メニューをご提供する11月の「羽る！」は「炙りメヒカリ」

回転寿司 羽田市場 グランスタ東京店では毎月旬な食材を厳選し限定メニューをご提供する「羽る！」フェアを実施しています。11月の「羽る！」は福島県産「炙りメヒカリ」。ふんわりとした食感と柔らかく香ばしい皮目が印象的な一品です。また北海道紋別産「つぶ貝のうま煮」も合わせて“旬”をお楽しみいただけます。



福島県産「炙りメヒカリ」
／ 750円（1皿2貫）
※東京駅限定

口どけの軽い、とろける白身は絶品。目が青く光っていることからその名がついたメヒカリ。見た目に反し、淡白な白身とふんわりした食感。皮が柔らかいことも特徴のひとつです。炙ったことで、皮目の香ばしさと口溶けしやすくなった脂が甘くなり、ふわっととろけるようです。



北海道紋別産「つぶ貝のうま煮」
／ 550円（3個）
※東京駅限定

丁寧に下処理したつぶ貝を やわらかく炊き上げました。食感はやわらかいにも関わらず コリコリとしたつぶ貝特有の食感も楽しめます。

■ホテルメトロポリタン 丸の内 ダイニング&バー「テングウ」 実りの秋、大地と海の恵みをフレンチで堪能「産地と技の饗宴 青森フェア」12月5日まで開催

ホテルメトロポリタン 丸の内のダイニング&バーでは、12月5日（木）までの期間、「産地と技の饗宴 青森フェア」を開催いたします。豊かな森が育む肥沃な大地と、三方を海に囲まれ暖流と寒流が交わることで栄養豊富な漁場に恵まれる食材の宝庫、青森県。自然の恵みをたっぷりと受けて育まれた食材をフレンチの技で輝かせたディナーコースをご提供いたします。

【協力】青森県

■日時

10月17日（木）～12月5日（木）
ディナータイム 17:00～22:00（ラストオーダー 20:00）

■メニュー内容

「青森スペシャルディナーコース」（全9品）

■価格

12,000円（消費税・サービス料込）

■店舗

Dining & Bar TENQOO（ホテルメトロポリタン 丸の内 27階）

■予約

TEL：03-3211-0141（直通9:00～22:00）

URL：<https://marunouchi.metropolitan.jp/restaurant/list/tengoo/menu/aomori-fair2024.html>

※上記Webサイトからのご予約で、ワンドリンク特典をご用意しております。

■「青森スペシャルディナーコース」メニュー内容

※下線部分は青森県の食材を使用しております。

- ・アミューズ ブーシュ
- ・本日の魚のマリネ 青森県産黒にんにくのピューレ 小かぶのサラダ
- ・本日のスープ
- ・青森県産アンコウのムニエル 塩わかめバター風味
- ・“NAMIKI牛” サーロインステーキ
青森県の大地の恵み アピオスと“青森きくらげ”と共に
- ・“桃川 にごり酒” のグラニテ
- ・青森県産りんごのタルトタタン 柚子の香り
- ・TENQOOオリジナルブレンド プレミアムコーヒー
- ・プティフル

※食材の入荷の都合により、メニュー内容や提供期間を変更する場合がございます。



「青森スペシャルディナーコース」イメージ



「一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会」について

東京駅とその周辺エリアを“一つの大きな街”と捉え、「東京駅が街になる」というコンセプトのもと、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）が2006年に命名。その後、同エリアの魅力を最大限に引き出し、エリア全体の価値を継続的に高めていくことを目的とし、2013年6月、JR東日本と東京ステーションシティに關係するJR東日本グループ24社（公益財団法人を含む）を会員とする「東京ステーションシティ運営協議会」が発足。2021年4月1日から「一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会」として新たなスタートを切り、東京ステーションシティで活動する37社（2023年4月1日時点）の会員企業と共に、この街の更なる魅力と価値の向上を目指し、エリアの情報発信、イベントの企画実施、環境整備などに取り組んでいる。

URL : <https://www.tokystationcity.com/>

会員一覧 : <https://www.tokystationcity.com/company/>

【正会員】

RB工装(株)、(株)紀ノ國屋、ジェイアールバス関東(株)、(株)JR東日本環境アクセス、(株)ジェイアール東日本企画、(株)JR東日本クロスステーション、(株)JR東日本サービスクリエーション、(株)JR東日本商事、(株)JR東日本ステーションサービス、JR東日本スポーツ(株)、(株)JR東日本テクノハートTESSEI、(株)ジェイアール東日本都市開発、(株)JR東日本パーソナルサービス、(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールス、(株)JR東日本ビルディング、JR東日本ビルテック(株)、(株)ジェイアール東日本物流、JR東日本メカトロニクス(株)、セントラル警備保障(株)、東海旅客鉄道(株)、東京ステーション開発(株)、日本ホテル(株)、(公財)東日本鉄道文化財団、東日本旅客鉄道(株)、(株)ビューカード、三井不動産(株)、八重洲地下街(株)

【協力会員】

岡谷鋼機(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、東京地下鉄(株)、(株)はとバス

【賛助会員】

JR東日本不動産投資顧問(株)、(株)JR東日本マネジメントサービス、JR東日本レンタリース(株)、JPビルマネジメント(株)、東京建物(株)、三菱地所(株)

計37社（2023年4月1日現在）

【今回のご紹介エリア】

改札内	
グランスタ 東京	https://www.gransta.jp/mall/gransta_tokyo/
改札外	
東京ステーションギャラリー	https://www.ejrcf.or.jp/gallery/
ホテルメトロポリタン 丸の内	https://marunouchi.metropolitan.jp/